



十中だより

令和2年6月12日発行

文責：奈加 晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

コロナウィルスと向き合っていくためには・・・

昨年の6月に出版された学校だよりを見返してみると、1・2年生の校外学習と3年生の修学旅行の記事で満載でした。

しかしながら、今年度の6月号は行事で頑張っている生徒の姿や、これからの色々な行事や活動について、書くことができません。通常授業を始めることができたとはいえ、本当にさみしくもあり、歯痒くもある日常です。

さて、休校中の授業の遅れを取り戻すために、教員も生徒も頑張っている毎日ではありますが、今一度学校における生活や家庭での生活のなかで、それぞれが根底に持つておかなければならない姿勢を確認しておきたいと思います。

つい先日、痛ましい事件が起きました。東京八王子の高校1年生の少年が拳銃のようなもので、自殺をしてしまった事件です。この事件の背景にあるものは何だったのでしょうか・・・

新型コロナウイルス感染拡大から、通常の日常を取り戻そうと頑張っていることは大事ですし、当然のことではあるのですが、気をつけなくてはならないのが、「ふつう」を取り戻すために必死になりすぎて、学校生活だけでなく、家庭や職場の中にあっても、ピリピリした空気や、焦り感のようなものが出ていることがあるということです。

大人でも、長い休職期間を経て出勤するようになった時にはある種の緊張感を伴います。「仕事は前のように上手くはかどるだろうか？」あるいは「人間関係はどのように上手くいくのだろうか？」等・・・それが子どもとなれば当然大人の何倍もの緊張が伴うと思います。

そんな中で、学校では授業の遅れを取り戻そうと山のような宿題を出してみたり、授業にもある種のせわしない雰囲気があったり、家庭においては、休んでいた状態からはやく集団活動に戻そうと、厳しすぎる言葉かけや、学校にもっと宿題を出してもらいたいと訴える保護者も多いそうです。

「不登校」を経験している子供たちの多くは、親や教師たちの思いに応えられず、「ふつう」という名の多数派の波に乗ることができず、立ち止まってしまったことで、登校しにくくなる人が多いと言われています。八王子の高校1年生の生徒も、「ふつう」に戻れそうにない自分に苦しんだあげくの行動であったのかも知れません。

早く今までの日常を取り戻したいという思いは、大人も子どもも同じ思いではありますが、こんな時こそ私たちは、おおらかな気持ちを忘れずに対応していきたいものです。



もちろん本校においては、危機感をもって、最悪の事態を想定しながら、ありとあらゆる所を毎日消毒し、密を避ける手立てを様々な場面で行っています。ワクチンが開発され、季節性のインフルエンザ同様の扱いになるまでは、窮屈な生活がしいられますが、安心・安全で楽しく学校に登校できるよう、職員一同最大限努力していきたいと思っています。

タブレットの活用について

昨日11日(木)に村から配布されたタブレットを持ち帰り、家庭でのWi-Fi環境への接続設定を行っていただきました。

コロナウィルスの第2波・第3波が訪れてしまった場合や、自然災害等でやむを得ず登校できない場合に備えて、整備を進めているところです。

来週19日(金)は、下校時刻を早め、実際に接続をして模擬授業を行う予定です。

国・県でも一人一台のタブレットの整備を進めているところではありますが、その整備がなされるまでの間は、村から提供されたタブレットで不測の事態にそなえておきたいと思います。

設定の仕方については、学校でも説明をし、プリントも配布しておりますが、ご家庭のWi-Fiのパスワードの設定等で生徒自身では難しい場合、保護者の方にもご協力いただきたいと思っています。

夏至

今年の夏至は6月21日(日)です。

授業でも習っていると思いますが、1年のうちで一番太陽が高く昇り、昼間の時間が一番長い日とされています。

ちなみに、大阪での日の出と日の入りの時間は、4:45、19:14となっているようです。14時間と29分も明るいわけですね。

逆に、一番日が短いとされる冬至と比べてみると、日の出は7:01、日の入りは16:51なので、日照時間は9時間50分です。

地域によって様々らしいですが、冬至にはカボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりする風習があるのは有名ですが、夏至はどうでしょう？

大阪ではタコを食べる習慣があるようです。「稲の根がタコの足のようになりしっかりと地面に張るように」という思いかららしいです。香川県ではうどん、奈良では半夏生餅という、小麦と餅米を混ぜて作るお餅を食べるらしいです。十津川村独自の風習や、各家庭独自の風習があるようでしたら、また教えて下さいね。



